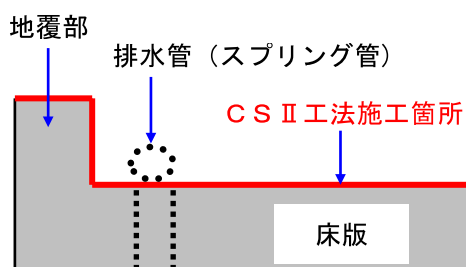


新設橋梁 床版防水および地覆部表面保護

本件は、在来河川上に新設された橋梁が先行施工されており、本舗装するまでの約 1 ヶ月間に他業者の切土盛土トラックや材料運搬車等の通行が予想されていた。
在来シート防水では舗装しなければ通行できないという不便があるため、当初設計より高価ではあるが、未舗装のままでも車両通行による破損の恐れがない無機系の塗布防水材（CS-21）に変更され、CSⅡ工法にて床版防水を行った。（施工面積：275㎡）

施工概要図



CSⅡ工法 施工手順

下地処理
CS-21 塗布（1回目）
湿潤散水（1回目）
CS-21 塗布（2回目）
湿潤散水（2回目）



施工前



CS-21 塗布状況



スプリングメッシュ設置状況



施工完了

新設橋梁 床版防水および地覆部表面保護 追跡調査

CSⅡ工法施工後約1ヶ月間工事車両用道路として使用され、新たな防水層の設置を行わずに舗装した後、供用が開始された。5年6ヶ月経過後に追跡調査を行った結果、下面からの漏水もなく、経過は良好であった。

確認年月 平成21年 3月 (5年6ヶ月経過)
確認方法 目視



全 景



舗装状況



床版下面

施工箇所と未施工箇所

追跡調査時に地覆部の施工箇所と未施工箇所を観察した結果、表面に明確な差が現れていた。



施工5年6ヶ月経過後状況



施工5年6ヶ月経過後状況